

科名 外科

対象疾患名 ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌

レジメン名 キイトルーダ+EC(ジーラスタボディポッド)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1 ... 21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ	↓
2	点滴注	側管	キイトルーダ	200mg	30分かけて	↓
			生食	100mL		
4	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓
			アロカリス	235mg		
			デキサート	9.9mg		
5	点滴注	側管	エンドキサン	600mg/m ²	30分かけて	↓
			生食	100mL		
6	点滴注	側管	塩酸エピルビシン	90mg/m ²	全開で	↓
			生食	100mL	壊死性抗がん剤	
6	皮下注		ジーラスタボディポッド	3.6mg		↓
7	皮下注		生食	20mL	ボディポッドプライミング用	↓

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル4(90%以上)

4コースまで

day2-4にデカドロン朝、昼食後に1回4mg(8錠)を内服する。

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

<エピルビシン>

エピルビシンは蓄積性の心毒性があるため総投与量は900mg/m²以下とする。

<ジーラスタボディポッド>

電源起動後約27時間後に自動的に薬液の投与が開始される。(投与時間は約24分)